

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	大規模な地震、津波に対しては、現実的に有効な対策を取れない。	可能な範囲で最善の対策を確実に実行できるようにする。	水、食料の備蓄状況の確認 非常時の連絡体制の確認(事業所 職員 利用者 家族など) 現実的な避難計画の策定(利用者 職員の安全を図る)	6ヶ月
2	13	職員の定着は改善しているが、レベルアップをめざして能力向上を図る必要がある。	個々の職員の力量に応じて介護力が向上するようにする。	引き続き内部研修、外部研修を充実させ、資格試験に一定の補助を行う。	3ヶ月
3	2	必ずしも事業所が地域に溶け込んでいるとは言えない。	気軽に日常の挨拶や雑談ができる関係を作る。	散歩、玄関の掃除や花壇の手入れの際に近所の人に出会ったら挨拶を欠かさない。	3ヶ月
4	19	あまり面会に来ない、ご家族もあり、配慮が必要な面もある。	ご家族とともに利用者を支えている関係を強化する。	ご家族に写真を同封した近況報告をする。 イベントにご参加をすすめる。	6ヶ月
5	34	容体の急変や事故への対応について更に技術を向上させる必要がある。	職員全員が、容体の急変や事故の対応を適切にできる。	研修や資料の提供を充実させる。 ケースを想定した演習を実施する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。